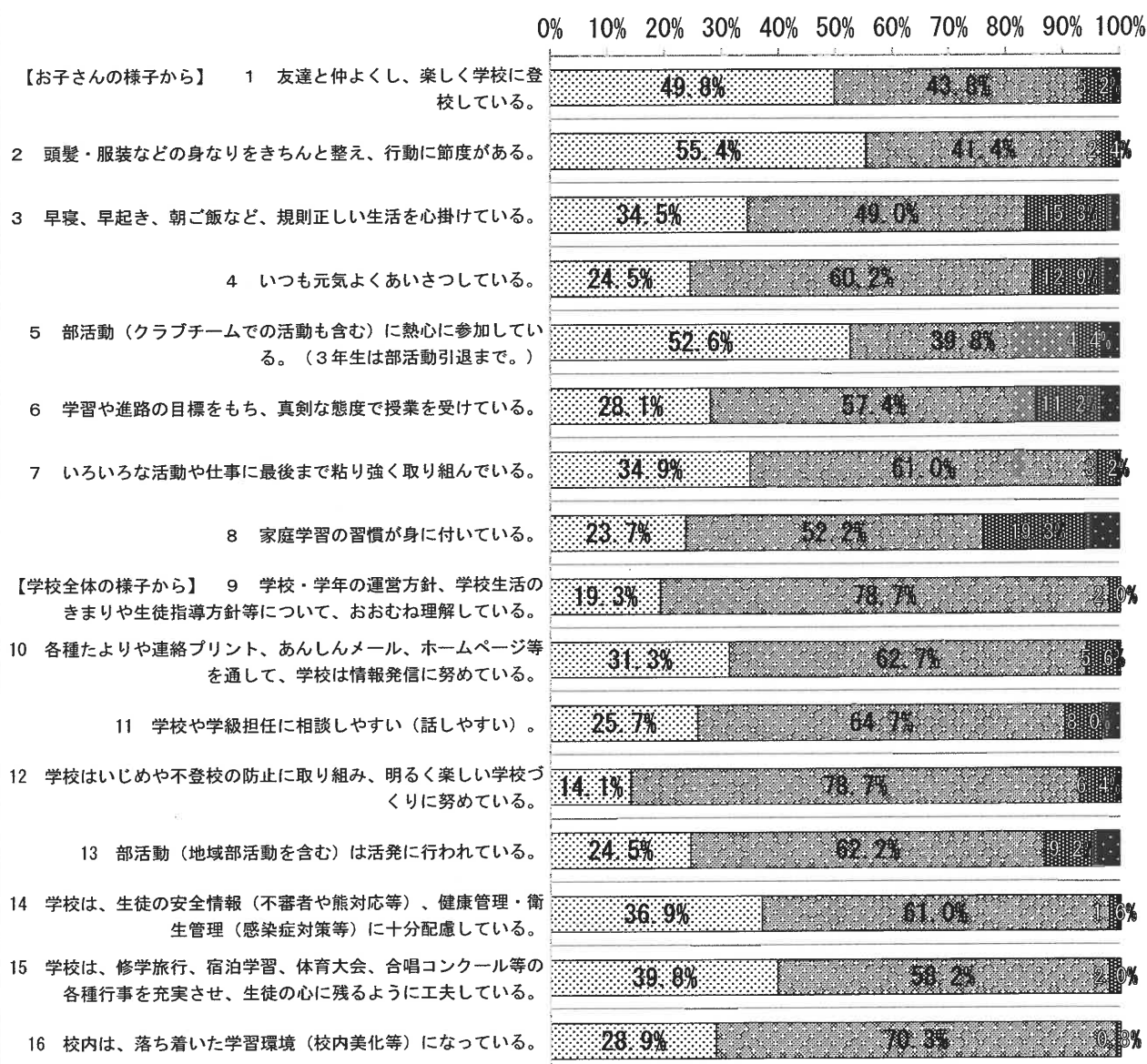


鷹 志

2学期末に実施した学校教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。また、アクションプランについての結果についても報告します。これらから、本校の教育活動について振り返り、成果と課題をまとめ、今後の対策を検討していますので、ご一読ください。

保護者向け学校教育アンケートの結果



□ そう思う ■ おおむねそう思う ■ あまりそうは思わない ■ そう思わない

保護者向け学校教育アンケートにおける意見等

※「あまりそう思わない」「そう思わない」を選択した場合に、意見の記述を依頼した。

【お子さんの様子から】

1 「友達と仲よくし、楽しく学校に登校している。」

- ・気の合う友達がいなくて少し悩んでいる。
- ・仲よくても気に入らなければ悪口を言い、時間が経てば何事もなかったようにするという人間関係に不信感がある。
- ・クラスの雰囲気あまりよくない。

2 「頭髪・服装などの身なりをきちんと整え、行動に節度がある。」

- ・前髪が長い。
- ・寝癖があっても直さない。
- ・中学生らしくない行動をしていることがある。

3 「早寝、早起き、朝ご飯など、規則正しい生活を心掛けている。」

- ・寝るのが遅く、朝なかなか起きられない。朝ご飯を食べる時間があまりない。
- ・夜遅くまでゲームしている。スマホに依存してダラダラと過ごしている。
- ・課題で寝不足が当たり前になっている。受験勉強があり、夜遅くまで起きている。
- ・注意してもやめない。注意しても部屋にいるため把握できない。

4 「いつも元気よくあいさつしている。」

- ・挨拶はしているが、元気よくというより普段の感じで挨拶している。
- ・恥ずかしいのか、自分からはしない。
- ・家でおはようと言っても何も言ってくれない。家族に対して挨拶まではしない。
- ・いかなる場面でもほぼ挨拶しないから

5 「部活動（クラブチームでの活動も含む）に熱心に参加している。」

- ・所属していない。
- ・休日、家にいることが多い。休むことが多かった。
- ・熱心ではない。ゆるくやっている。
- ・好きでないようだが、自分で決めたので活動して得られるものがあると思っている。

6 「学習や進路の目標をもち、真剣な態度で授業を受けている。」

- ・進路の目標がまだない。
- ・将来の進路についてよく分かっていない。
- ・苦手な教科や単元に関しては、興味がない様子が伺える。

7 「いろいろな活動や仕事に最後まで粘り強く取り組んでいる。」

- ・取り組んでいると思うが、粘り強くは感じられない
- ・何事にもやる気がない。上手くいかないとやりたくなくなる。

8 「家庭学習の習慣が身に付いている。」

- ・家庭学習の時間が少ない。宿題をほとんどしない。テスト期間しか勉強しない。
- ・平日の課題がないので、平日は全く勉強している様子がみられない。宿題や週末課題が少ない。
- ・宿題や週末課題はやっても、それ以上やらない。
- ・生徒の実力にあった課題を出していただくことができればありがたい。

【学校全体の様子から】

9「学校・学年の運営方針、学校生活のきまりや生徒指導方針等について、おおむね理解している。」

- ・理解していないというより、よく分からない。

10「各種たよりや連絡プリント、あんしんメール、ホームページ等を通して、学校は情報発信に努めている。」

- ・連絡プリントは、親の手に渡ることが少ない
- ・ホームページの更新が少ない。
- ・下校時刻の変更等が、子供に伝わっておらず、その変更等も細かく知らせてほしい。

11「学校や学級担任に相談しやすい。」

- ・三者懇談会等でしか話す機会がない。
- ・どこまでの内容をどのように学校へ相談してもよいのか分からない。電話してまで聞きにくい。
- ・質問や相談したことに対して、返答がないことがあった。

12「学校はいじめや不登校の防止に取り組み、明るく楽しい学校づくりに努めている。」

- ・子供たちがはつらつとしている雰囲気はあまり感じられない。
- ・不登校やいじめの現状、改善の様子が分からない。どういう取組をしているのかも分からない。
- ・不登校について、個々の対応は充分になされているとは思いますが、あまりに人数が多いように思う。

13「部活動は活発に行われている。」

- ・休みが多い。活動日、活動時間が少ない。結果を出すために練習すべき。
- ・部活動によって活動量のバラつきがある。地域部活動が明峰中にだけあるものもある。
- ・部活動はもっとやった方が生徒の交流も増え、礼儀や人との関わり方が学べる。
- ・専門的指導が十分でない。外部コーチ、地域の方、保護者など連携すればよい。
- ・学校外での活動や遠征には送迎が必要で、できる家庭とできない家庭があることを理解してほしい。

14「学校は、生徒の安全情報、健康管理・衛生管理に十分配慮している。」

- ・マスク着用や手洗い、うがい、アルコール消毒等が徹底されていない。
- ・道が狭くて暗いため、安心した下校ができない。スクールバスが定員いっぱいに乗れなかった。
- ・不審者情報が多い中、他者から学年と名前が分かる名札を付けての登下校は見直すべき。

15「学校は、修学旅行、宿泊学習、体育大会、合唱コンクール等の各種行事を充実させ、生徒の心に残るように工夫している。」

- ・9月は猛暑で体育大会をするには無理がある。

16「校内は、落ち着いた学習環境になっている。」

- ・トイレをきれいに整備してほしい。数を増やしてもらいたい。



アンケート結果からの成果と課題、今後の対策

本校では、学校の教育目標の実現を目指し、教職員が生徒の健やかな成長を考えて教育活動を進めてきました。本アンケートは、保護者による回答から「本校の教育目標についてどの程度実現されているか、あるいはどの点が不十分なのかを探り、今後の教育活動を改善するための資料とする」ことをねらいとして実施しました。アンケート結果からの成果と課題、今後の対策は下記のとおりです。

○ ほとんどの項目で「そう思う」「おおむねそう思う」の回答が80%を超えています。生徒が主体的に活動し、保護者や地域の期待に応えられるよう一層の努力を重ねていきたいと思っています。

△ 3：規則正しい生活、4：挨拶の項目では、就寝が遅いことが翌朝の食事や挨拶に影響を与えていることが伺えます。その原因として、課題や受験勉強により就寝時刻が遅くなる生徒がいる一方、ゲームやスマホ使用による場合もみられます。1日や1週間を通したスケジュールを管理する力を高めるために、定期考査前の学習計画と実践の習慣を他の期間にも拡張できるように支援する必要があると考えています。また、挨拶しているが元気よくはない、挨拶自体しないとの意見がありました。時と場に応じて挨拶できるように、日々の授業や集会等での挨拶の指導を継続していきたいと思っています。

△ 11：学校や学級担任への相談の項目では、学級担任等と三者懇談会でしか話ができず、電話では聞きにくいとの意見がありました。保護者からだけでなく、生徒からも相談がしやすいように、日々の授業や生活ノートのやりとり、面談、行事等での関わりを大切にして生徒理解に努めていきたいと思っています。また、質問や相談に対しては、できるだけ早く確実に回答するように徹底していきます。

△ 5、13：部活動の項目では、活動日や時間が少ないこと、市内中学校での地域部活動に違いがあること、練習場所や遠征での保護者送迎の困難についての意見がありました。平日は学校部活動で、休日は学校部活動または地域部活動として活動しています。現在、部活動の地域移行を進めている最中であり、将来的に平日も含めた学校部活動を地域クラブへと移行していく予定ですが、これまでとの変更による混乱が生じています。生徒が専門性の高い指導が受けられるように、市スポーツ課を通じて各競技協会・団体・クラブと連携し、枠組みを構築しているところです。移行期間中のどちらの活動であっても、平日は4日程度、休日は1日までの活動とし、生徒にとって効果的で内容の濃い活動になるように努めていきたいと思っています。

△ 10：学校からの情報発信の項目では、ホームページの更新が少ないとの意見がありました。学年や学校での様子を学年担当者を中心に即時性のある発信となるように努めます。また、下校時刻等の予定については、毎月配布している行事予定表に記載しており、変更の場合は再配布したり、急変のときにはあんしんメールで連絡したりしています。部活動の変更は、当日に生じないよう計画的な実施に努めていきます。

× 8：家庭学習の項目では、家庭での学習習慣が身に付いておらず、学習内容が出された課題のみ、期間が考査前のみと限られていることが伺えます。4：学習や進路の目標の項目にも関連して、キャリア教育をより推進していく必要があります。高校等の進路選択に関する情報は、職員室前や多目的ホール、階段踊り場等に掲示し、全生徒が目にすることができるようにしています。また、職業調べや「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」等の学年に応じた生徒自身のキャリアプランをより具体化することが、生徒の主体性や学習意欲の向上につながると考えています。家庭学習については、毎週水曜日に「今週の課題」を配布し、週末にかけて計画的に家庭学習に取り組めるようにしています。生徒の実力に応じた課題の設定の要望があり、今後は課題の量や内容を精選しながら、達成感を感じられる取組になるよう検討していきたいと考えています。普段の授業においては、教員が愛情と情熱をもって生徒と関わり、生徒の多様な意見を共有したり、自分の考えを深めたりする活動を大切にして、ICTを適切に活用しつつ、自分の考えを表現する活動も重視した授業デザインを研究していきたいと思っています。

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 1 -

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 1 -																																	
重点項目	家庭での学習習慣の定着（知）																																
重点課題	家庭での学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒の育成																																
現 状	昨年度は、「平日の家庭学習を継続して60分以上行っている生徒の割合を70%以上にする」という達成目標を設定し、家庭での学習習慣の定着を図った。その方策として、課題は適切な内容や量を考えて提示するようにし、学習方法ポスターを作成して、自分にあった学習方法を見付けることができるよう工夫した。「今週の課題」は生活ノートに添付できるようにしてあり、毎週水曜日に配布して、生徒が計画的に学習できるようにした。その結果、学習時間調査の達成度では、1学年が48.6%→62.7%、2学年が38.7%→39.8%、3学年が86.2%→95.5%という変移がみられ、1学期から2学期にかけて全体的に学習時間は増加した。しかし、アンケートの自由記述欄をみると、学習方法について悩んでいたりと、学習時間の捻出に苦慮している様子がみられた。 このことから、目標設定が生徒の実態に合っていなかったことと、家庭学習に意欲をもたせる具体的な手立てが不十分であったことが考えられる。																																
達成目標	1週間あたりの家庭学習を1日平均90分以上行っている生徒の割合を75%以上にする。																																
方 策	① 学習委員会が主体となって、年間2回（6月、11月の中の1週間）、家庭学習時間調査を行い、実態把握や方策の見直しを行う。 ② 教科担任から具体的に家庭学習（予習・復習）の仕方について指導する。 ③ 「今週の課題」は適切な内容や量を考えて提示し、提出日が同じ日に集中しないように配慮する。また、毎週水曜日に配布する。 ④ 長期休業中や定期考査前に質問教室や個別指導を実施し、学習内容の理解や意欲の向上を促す。 ⑤ 平日の家庭学習や週末課題に取り組む意義や大切さを、富山県版「家庭学習のすすめ」や各種たより、学級活動等を利用して、生徒に伝える。 ⑥ 「今週の課題」としてe－ライブラリを活用し、基礎基本の定着を図る。																																
外部評価者	学校評議員																																
公開の方法	学校評議員会、学校だより																																
達成度	(%) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">6月</th><th colspan="2">11月</th></tr><tr><th>60分以上</th><th>90分以上</th><th>60分以上</th><th>90分以上</th></tr><tr><td>1学年</td><td>47.0</td><td>9.7</td><td>23.5</td><td>5.4</td></tr><tr><td>2学年</td><td>49.6</td><td>16.8</td><td>48.2</td><td>15.9</td></tr><tr><td>3学年</td><td>57.1</td><td>20.1</td><td>72.4</td><td>42.7</td></tr><tr><td>全学年</td><td>51.8</td><td>15.5</td><td>48.0</td><td>21.3</td></tr></table>					6月		11月		60分以上	90分以上	60分以上	90分以上	1学年	47.0	9.7	23.5	5.4	2学年	49.6	16.8	48.2	15.9	3学年	57.1	20.1	72.4	42.7	全学年	51.8	15.5	48.0	21.3
	6月		11月																														
	60分以上	90分以上	60分以上	90分以上																													
1学年	47.0	9.7	23.5	5.4																													
2学年	49.6	16.8	48.2	15.9																													
3学年	57.1	20.1	72.4	42.7																													
全学年	51.8	15.5	48.0	21.3																													
具体的な取組状況	・ 学習委員会による学習方法ポスターの作成と家庭学習時間調査を実施した。学年ごとに週末課題を実施し、教科ごとに提出日が分散するようにした。 ・ 家庭学習時間調査では、1週間の平均が1日90分以上となるように、生徒が自分の生活様式に合わせて少なくとも1日60分以上の目標時間を設定し、達成のためにできる工夫を考えさせた。																																
評 価	C	・ 1週間を通しての学習時間の設定、実践の意識が十分でなかったことが考えられる。生徒の感想では、「日頃よりも学習することができた」「課題をいつもより早く終わらせることができた」という意見があった。一方で、「適切な学習時間が分からない」との意見もあった。																															
来年度へ向けての課題	・ 時間の使い方や家庭学習の計画、学習時間の確保等について、家庭学習を継続することで得られる力を加えながら、具体例を挙げて生徒に紹介し、学習意欲の向上を図ることが必要である。 ・ ワーク等の提出課題とe－ライブラリを活用した自主学習を組み合わせることで、家庭学習の習慣化を図る。																																

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 2 -

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 2 -																																									
重点項目	元気な挨拶を交わし、身だしなみを整えることに対する意識の向上（徳）																																								
重点課題	「生活振り返りカード」の2項目を取り上げ、明るく元気な挨拶を交わし、適切な容姿を意識できる生徒の育成																																								
現 状	昨年度は、「時間を守り余裕をもって行動すること」や「頭髪、服装のルールを守ること」を校紀委員が日常的に呼び掛け、行動や容姿の意識を高めた。今年度は、昨年度に課題として挙げられた「挨拶…明るく・元気な挨拶を交わす」、「容姿…節度ある頭髪・服装」に重点を置いて活動を推進する。																																								
達成目標	校紀委員会で実施する「生活振り返りカード」において、「明るく・元気な挨拶を交わすことができたか」、「頭髪、服装のルールを守ることができたか」という設問に対し、「よくできた」、「まあまあできた」と自己評価する生徒の割合を80%以上にする。																																								
方 策	① 「明るく・元気な挨拶交わすこと」や「頭髪、服装のルールを守ること」を校紀委員が日常的に呼び掛け、行動や容姿の意識を高める。 ② 「生活振り返りカード」の「あいさつ」、「ようし」についての自己評価を集計し、達成度を調べる。 （1学期）… 4、5、6、7月の集計をする。 （2学期）… 9、10、11、12月の集計をする。 （3学期）… 1、2月の集計をする。																																								
外部評価者	学校評議員																																								
公開の方法	学校評議員会、学校だより																																								
達成度	(%) <table><tr><th>学期</th><th colspan="2">1 学期</th><th colspan="2">2 学期</th><th colspan="2">3 学期</th></tr><tr><th>項目</th><th>挨拶</th><th>容姿</th><th>挨拶</th><th>容姿</th><th>挨拶</th><th>容姿</th></tr><tr><td>1 学年</td><td>75.9</td><td>91.1</td><td>88.9</td><td>96.7</td><td>86.4</td><td>91.9</td></tr><tr><td>2 学年</td><td>88.6</td><td>88.7</td><td>93.9</td><td>90.3</td><td>92.0</td><td>91.1</td></tr><tr><td>3 学年</td><td>88.2</td><td>90.6</td><td>91.9</td><td>95.2</td><td>92.4</td><td>92.8</td></tr></table>						学期	1 学期		2 学期		3 学期		項目	挨拶	容姿	挨拶	容姿	挨拶	容姿	1 学年	75.9	91.1	88.9	96.7	86.4	91.9	2 学年	88.6	88.7	93.9	90.3	92.0	91.1	3 学年	88.2	90.6	91.9	95.2	92.4	92.8
学期	1 学期		2 学期		3 学期																																				
項目	挨拶	容姿	挨拶	容姿	挨拶	容姿																																			
1 学年	75.9	91.1	88.9	96.7	86.4	91.9																																			
2 学年	88.6	88.7	93.9	90.3	92.0	91.1																																			
3 学年	88.2	90.6	91.9	95.2	92.4	92.8																																			
具体的な取組状況	・ 毎朝、校紀委員が生徒玄関前に立ち、全校生徒に向けて挨拶をする活動や挨拶のよかった点と改善点を終学活で呼びかける活動を通して、全校生徒の挨拶に対する意識が高まった。また、月末に行っている頭髪、服装チェックにおいても、生徒の意識付けに役立っている。																																								
評 価	B ・ 2 学期までは、月を追って徐々に達成度が高くなったが、3 学期にはやや低くなった項目がみられた。生徒の評価と実際の挨拶の様子や容姿の整い具合にずれがみられた。																																								
来年度へ向けての課題	・ 校紀委員会が中心となり、「学校生活のしおり」に掲げている挨拶や行動のきまりについて、生徒が自ら見直しを図りながら、規律ある行動が取れるよう定期的に呼びかけを進める。																																								

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 3 -

令和5年度 清明中学校アクションプラン - 3 -																																																				
重点項目	心身の健康に対する意識の向上（体）																																																			
重点課題	現在起きている危機的状況や、今後起こり得る危機的状況に対応するために、身近にいる信頼できる大人にSOSを出せる生徒の育成																																																			
現状	昨年度の健康づくりノートの回答結果より、心に関する項目の「心配事や悩みなどは誰かに聞いてもらっている」「心を打ち明けられる友達がいる」「学校生活は楽しい」についてはいずれも県平均よりも本校は低い数値となった。特に「心配事や悩みなどは誰かに聞いてもらっている」では、「はい」の生徒の割合が県平均より低く、「いいえ」の割合が県平均より高いという結果であった。心の面で不安を抱えている生徒、さらにそれを相談できずに一人で抱えている生徒がいることが明らかとなった。これらの実態により現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動ができる生徒を目指す。																																																			
達成目標	健康づくりノートにおいて、「心配事や悩みなどは誰かに聞いてもらっている」と回答する生徒の割合を70%以上にする。																																																			
方策	① 保健委員会が年3回行う生活リズム調査で、心の健康について調べる。 ② 外部指導者を招いて、いのちの教室や、性に関する講演会を行う。 ③ PTA厚生委員会と協力して、SOSの出し方に関する講演会を行う。 ④ とやまゲンキッズ作戦への取組を通して、心の健康状態を確認する。 ⑤ 各学級でSOSの出し方に関する学級活動を行う。（9月）																																																			
外部評価者	学校評議員																																																			
公開の方法	学校評議員会、学校だより																																																			
達成度	<table><tr><td rowspan="2">学期</td><td colspan="3">1学期</td><td colspan="3">2学期</td></tr><tr><td>選択肢</td><td>はい</td><td>どちらでもない</td><td>いいえ</td><td>はい</td><td>どちらでもない</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>1学年</td><td></td><td>64.7</td><td>25.3</td><td>10.0</td><td>67.8</td><td>22.1</td><td>10.1</td></tr><tr><td>2学年</td><td></td><td>62.7</td><td>27.4</td><td>9.9</td><td>71.5</td><td>17.7</td><td>10.8</td></tr><tr><td>3学年</td><td></td><td>65.3</td><td>20.8</td><td>13.9</td><td>65.1</td><td>20.1</td><td>14.8</td></tr><tr><td>全学年</td><td></td><td>64.3</td><td>24.3</td><td>11.4</td><td>68.1</td><td>19.9</td><td>12.0</td></tr></table>						学期	1学期			2学期			選択肢	はい	どちらでもない	いいえ	はい	どちらでもない	いいえ	1学年		64.7	25.3	10.0	67.8	22.1	10.1	2学年		62.7	27.4	9.9	71.5	17.7	10.8	3学年		65.3	20.8	13.9	65.1	20.1	14.8	全学年		64.3	24.3	11.4	68.1	19.9	12.0
学期	1学期			2学期																																																
	選択肢	はい	どちらでもない	いいえ	はい	どちらでもない	いいえ																																													
1学年		64.7	25.3	10.0	67.8	22.1	10.1																																													
2学年		62.7	27.4	9.9	71.5	17.7	10.8																																													
3学年		65.3	20.8	13.9	65.1	20.1	14.8																																													
全学年		64.3	24.3	11.4	68.1	19.9	12.0																																													
具体的な取組状況	・年3回実施している生活リズム調査で、「心の健康について気を配る」ことを意識させた。また、1学年では「いのちの教室」で命の尊さについて学び、2・3学年では「性に関する講演会」の中でSOSを出す方法や相談機関についても学習した。2学期には学級で、SOSの具体的な出し方を学んだ。11月には「がんとむき合う会」から講師を招き、相談することの大切さや人とのつながりについての講演会を行った。																																																			
評価	C	・委員会活動や学級活動、各種講演会により、困ったときは相談しようとする生徒が増加した。しかし、「いいえ」という生徒も一定数いることから、今後も継続した呼びかけを行っていきたい。																																																		
来年度へ向けての課題	・さまざまな取組を通して、「身近にいる信頼できる大人にSOSを出してみよう」という生徒は増加したが、大人に相談する勇気がもてない、言いづらいという生徒が見受けられた。生徒が安心して大人に相談できる関係づくりのために、相談を受ける大人側（教員等）の研修が必要である。また、自分の心のSOS自体に気付かない生徒もあり、来年度は生徒用のストレスチェック等の実施を検討する。																																																			

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

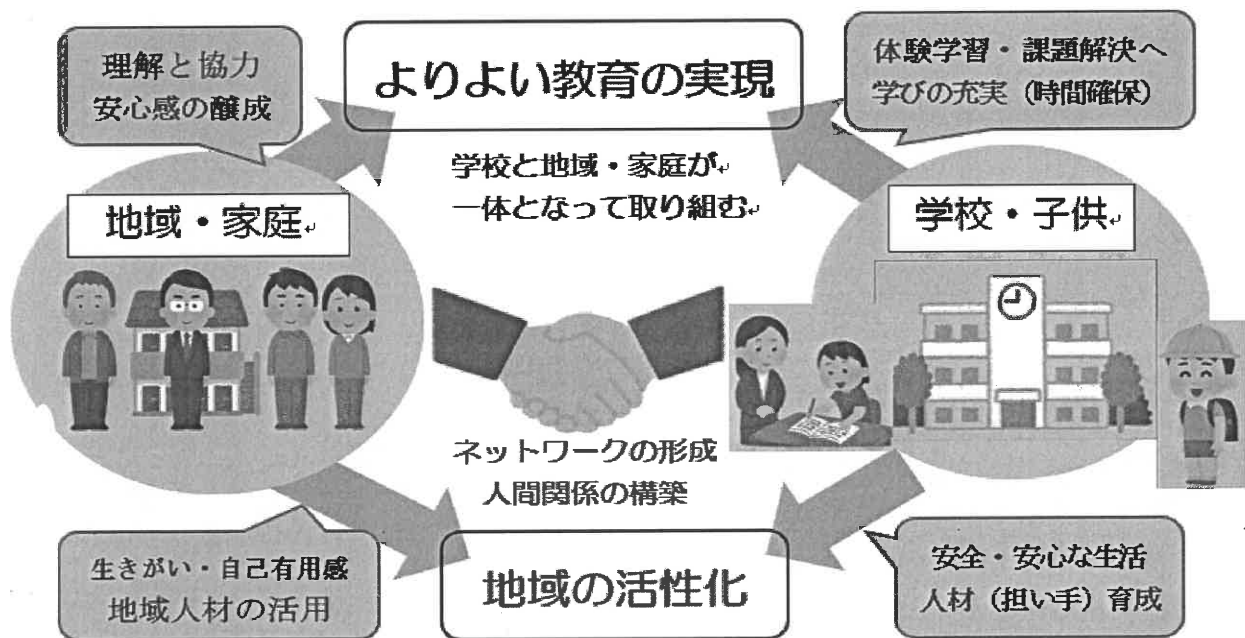
令和6年4月より黒部市立小中学校は、

コミュニティ・スクールとなります

- 1 目的 学校と地域・家庭が共通の目的をもって、連携・協働する体制を整え、よりよい教育の実現と地域の活性化を進めます。
- 2 方法 学校運営協議会を設置し、学校運営や教育活動の充実、学校課題の解決に必要な支援等について協議しながら、学校と地域・家庭が一体となって取り組みます。

※学校運営協議会…校長、自治振興会代表、PTA 代表、公民館代表、有識者等で組織

- 3 理由や背景等：社会総がかりで教育する必要があります
 - ・子供を取り巻く環境が変化、学校が抱える課題が複雑化
 - ・働き方改革の必要性、地方創生の動きの高まり など
- 4 効果やメリット：これまでの取組を土台に、改善・発展を図ります



子供＋家庭＋地域
WIN-WIN

①組織的・継続的な体制の構築により、持続可能となります！

例) 14歳の挑戦や地域行事等 ⇔ 担い手育成や郷土愛の育成

②当事者として役割分担することで、連携・協働して活動できます！

「我が子、我が学校、我が地域」のための活動です。

例) 部活動指導者やゲストティーチャー等 ⇔ 質の高い教育、地域人材の活用

③目標・ビジョンを共有し、協力して取り組むことで、安全・安心・信頼が高まります。

例) 安全パトロール隊の活動 ⇔ 子供や地域の安全・安心と地域人材のやりがい

合言葉：**ち**（力を合わせ）、**い**（生き生きと）、**き**（希望をもって）